

(2) 塩分・硫酸塩の分布から沿岸表層の定常流を推定する一試み。

流速及び塩度・硫酸塩の分布が定常であると假定して、表層をモザイク状に分けた各部分につき、水の出入、塩分・硫酸塩の流れに伴う出入の代数和を0と置いて境界面の流速を順次各部分につき推定する方法を吟味し、昭和八年九月に相模の東北部で行った観測の結果に應用して見た。(岡田光世)